



## 学級懇談会, PTA理事会, 学校評価委員会

7月19日(火)の学級懇談会に多数ご参加いただきありがとうございました。新年度はじまってからの子供たちの様子や今後の予定の確認など担任からお話しさせていただいたと思います。短い時間ではございましたが、保護者の皆様にとって有意義な時間となっていれば幸いです。

さて、この日、学級懇談会の前に第2回PTA理事会及び第1回学校評価委員会を行いました。

PTA理事会では、学年活動や専門委員会の活動報告や今後の予定などの確認がありました。詳細は、7月22日(金)に配信いたしました、「PTA理事会だより vol.2」でご確認ください。

第1回学校評価委員会では、6月30日～7月7日にかけて行いました学校評価の集計結果について話し合いました。(学校評価の集計結果については、本日、ホームページで公開していますのでご覧ください。また、自由記述についても同様に公開していますが、こちらは、関係者のみの閲覧になっています。保護者の方々には、ラインネットにてパスワードをお知らせいたします。)話し合いの中では次のような意見があがりました。

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目のところに「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」などの回答がわずかではあるが見られる。言葉の捉え方もあると思うが、やはりこの回答率は、100%になってほしい。
- 肯定率は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせたものであるが、心理として迷ったら「どちらかと言えばそう思う」に回答しがちになるかもしれないので、「そう思う」の回答を重視すると良い。
- 全体的に肯定率が高いことはとてもよいことであるが、考えていかないといけないのは、少数の「あまりそう思わない」「そう思わない」に回答した方々が「どちらかと言えばそう思う」や「そう思う」の方に回答できるように取り組んでいくことである。
- 自由記述にある「通学についてのご意見」であるが、入学する際に自力通学を確認していることなので、このことについて教職員の方々が対応されなければならない状態はどののだろうか。教職員の方々には、子供たちとしっかり関わっていただきたいし、そのようにするためにも、「特別な事情がない限り自力通学」というルールをしっかり守るべきである。また、ルールを守るという範を保護者自身が子供たちに示すことが大切である。
- 幼小中一貫教育の項目で教職員の回答に「あまりそう思わない」「そう思わない」がわずかではあるが見られる。これは、幼小中一貫教育を重視していないわけではなく、一貫教育の成果として詳細に見たときに厳しく分析しているからだと思う。厳しく分析したからこそ、今後成果を上げられるような取組を検討していく。
- これらの分析結果から、夏休み明けの教育活動をさらによりよいものにしていくための、具体的な取組を検討していく。

※ 学校評価委員会に参加された方々、建設的なご意見をいただき、大変ありがとうございました。学校評価委員会の資料には、いくつか数値の間違ひがありましたので、訂正したものをホームページに掲載しています。

## 事務室横の花壇

PTAの保健厚生委員会の皆様をはじめ、お世話してくださった方々のおかげで事務室横の花壇の花が、夏の青空のもと綺麗に咲いています。飼育栽培委員会の子供たちが植えた時のイメージ通りだと思います。

